



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社グローバルウェイ 上場取引所 東  
 コード番号 3936 URL <https://www.globalway.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 各務 正人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼CISO (氏名) 伊藤 享弘 TEL 03(5441)7193  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	4,014	30.7	307	-	311	-	192	-
2025年3月期	3,071	25.1	△261	-	△277	-	△320	-

(注) 包括利益 2026年3月期 270百万円 (-%) 2025年3月期 △306百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	5.28	5.27	23.5	15.8	7.6
2025年3月期	△8.78	-	△36.4	△14.9	△8.5

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 3百万円 2025年3月期 0百万円

(注) 2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,166	1,489	42.6	25.26
2025年3月期	1,772	1,175	40.4	19.66

(参考) 自己資本 2026年3月期 923百万円 2025年3月期 716百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	301	△123	△95	735
2025年3月期	△542	23	191	653

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2026年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2027年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

### 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,307	7.3	125	△59.0	124	△60.0	123	△36.0	3.37

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) TimeTicket Inc.、除外 1社 (社名) TimeTicket GmbH

(注) 詳細は、添付資料11ページの「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	36,566,450株	2025年3月期	36,431,650株
2026年3月期	4,261株	2025年3月期	4,261株
2026年3月期	36,507,776株	2025年3月期	36,420,124株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,107	1.4	163	-	182	-	148	-
2025年3月期	2,078	△5.4	△341	-	△329	-	△330	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	4.07	4.06
2025年3月期	△9.07	-

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	1,082	712	712	537	65.3	19.33
2025年3月期	949	537	537	537	56.6	14.75

(参考) 自己資本 2026年3月期 706百万円 2025年3月期 537百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については添付資料「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料は2026年5月14日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報の注記) .....	13
(重要な後発事象の注記) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績が堅調に推移する中、雇用情勢・所得環境の改善を背景に、物価上昇の影響を受けつつ個人消費や好調なインバウンド需要などを背景に景気は、緩やかな回復が続いております。一方で、米国における通商政策の動向や円安基調が続く為替市場の動向や長期金利上昇、さらに、米国により中東地域への大規模な軍事攻撃を契機とする地政学リスクが一段と高まってきており、資源・エネルギー価格の上昇など不安定な国際情勢から景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は「“人”と“技術”を新しい時代のために」を経営理念とし、「人々や企業から最も信頼される存在を目指して」をビジョンとして、人々の幸せや企業の成長をあらゆる技術の追求により最大限実現し、新しい時代において、最も信頼される存在を目指しております。

具体的には、デジタル・ソリューション事業、キャリアイノベーション事業、シェアリング事業の3事業を展開しております。

デジタル・ソリューション事業では、クライアントの積極的なシステム投資やDX化を支援すると同時に、エンジニアの採用や育成によるケイパビリティ拡大に取り組み、キャリアイノベーション事業では、送客数の増加や送客先の新規開拓、人材紹介会社などに対する支援の拡大に取り組み、シェアリング事業を行う株式会社タイムチケットは、個人が個人に対してスキルを販売するマッチングプラットフォームを展開するスキルシェア事業、経営課題の解決を支援するコンサルティング事業、TikTok代理店活動などを行うライブエンターテインメント事業を行っております。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は4,014,358千円（前期比30.7%増）、営業利益は307,057千円（前期は営業損失261,140千円）、経常利益は311,666千円（前期は経常損失277,599千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は192,871千円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失320,046千円）となりました。

なお、当社グループは、これまで組織と事業セグメントが同一として区分してきましたが、「プラットフォーム事業」と「セールスフォース事業」、および「メディア事業」と「リクルーティング事業」について、それぞれの領域をより複合的かつ連携的にサービス提供していくことが必要であると判断いたしました。

これにより、経営スピードの向上や、成長する新たなビジネスへのリソースの集中的な投下・投資実現することが、当社グループのさらなる成長に不可欠であると認識しております。また、投資家の皆様に当社グループの事業全体への理解を一層深めていただくため、現行の「プラットフォーム事業」「セールスフォース事業」「メディア事業」「リクルーティング事業」の構成について、再編および呼称の変更を行いました。

その結果、従来は5区分としておりましたが、当中間連結会計期間より、「デジタル・ソリューション事業」「キャリアイノベーション事業」「シェアリング事業」の3区分に変更いたしました。

前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて算出しています。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① デジタル・ソリューション事業

デジタル・ソリューション事業では、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を支援するため、基幹業務システムを活かしつつ最適なクラウドソリューションを組み合わせたデジタルプラットフォームの構築や、SalesforceやHubspotなどのクラウドソリューションやAIソリューションの導入支援を通じて、クライアントの業務改革を総合的にサポートしております。加えてITコンサルティングサービスを提供することで、DX戦略やAI活用戦略の立案やDXプロジェクトのプロジェクト管理支援（PMO）を提供してまいります。DX戦略、要件定義といった上流領域から運用・定着化支援まで一貫して提供しています

また、これらのサービス提供力の強化に向けて、コンサルタント・エンジニアの採用・育成にも注力し、技術的ケイパビリティの拡大を継続しております。

サービスの特長として、「システムや業務の全体設計」や「クラウド基盤やSalesforceの導入支援」を通じて、「開発・運用・定着まで一貫サポートを実施しております。

以上の結果、デジタル・ソリューション事業の売上高は1,578,172千円（前期比7.2%増）、セグメント利益は423,649千円（前期比953.5%増）となりました。

#### ② キャリアイノベーション事業

働く人々のキャリア形成を支援する総合的な人材サービスを提供しています。企業の年収・評判・面接体験などの口コミ情報や求人情報を掲載する情報プラットフォーム「キャリアコネ」などのメディアサービスを展開する

一方で、外資系・IT・コンサルティング業界を中心に、ハイクラス人材を対象とした有料職業紹介サービスを提供しています。

これにより、求職者にとっては信頼性の高い企業情報の取得から最適な転職機会の獲得まで、企業にとっては優秀な人材への効果的なアプローチまでを、一気通貫で支援するキャリア支援事業を推進しています。

当連結会計年度においては、外資系IT企業・コンサルティング企業をはじめとしたハイクラス人材紹介で売り上げが堅調に推移しました。

情報プラットフォーム「キャリアコネ」を通じて継続的に、送客数の増加や送客先の新規開拓、人材紹介会社などに対する支援の拡大に取り組んでおります。

当連結会計年度において、度重なるGoogleコアアップデートによる影響により、キャリアコネ登録サイトへの流入数が、昨年対比で大きく減少となりました。SEO対策や送客先の新規開拓や送客数の増加などで売上の回復を目指しましたが、目標達成までは至りませんでした。

以上の結果、キャリアイノベーション事業の売上高は529,478千円（前期比12.9%減）、セグメント利益は85,352千円（前期比81.0%増）となりました。

### ③ シェアリング事業

グループ会社である株式会社タイムチケットがシェアリング事業として、「TimeTicket(タイムチケット)」、「TimeTicket Pro(タイムチケットプロ)」、「TikTok Live代理店」を運営しております。

また、経営課題の解決を行うコンサルティングサービス「CRiPTコンサルティング」を提供しております。

当連結会計年度においては、ユーザー数増加及びサービス利用の活性化、システム改修の推進と合わせて、TikTok Live代理店活動やCRiPTコンサルティング事業などを行うライブエンターテイメント事業の営業活動に注力いたしました。

以上の結果、シェアリング事業の売上高は1,938,938千円（前期比84.6%増）、セグメント利益156,657千円（前期比58.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当連結会計年度末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べ394,469千円増加し、2,166,976千円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産の増加が241,492千円、現金及び預金の増加が185,705千円あったことによるものであります。

当連結会計年度末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ80,465千円増加し、677,080千円となりました。これは主に、短期借入金の減少が115,000千円あった一方、買掛金の増加が111,418千円、未払金の増加が57,639千円、未払消費税等の増加が42,612千円あったことによるものであります。

当連結会計年度末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ314,004千円増加し、1,489,895千円となりました。これは主に、資本金の増加が10,469千円、資本剰余金の増加が10,469千円、利益剰余金の増加が192,871千円、非支配株主持分の増加が101,128千円あったことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、735,704千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、301,395千円の獲得(前期は542,777千円の使用)となりました。これは主に売上債権及び契約資産の増加が241,492千円あった一方、税金等調整前当期純利益が288,224千円、仕入債務の増加が111,418千円、営業活動によるキャッシュフローのその他の増加が78,059千円、未払金の増加が57,366千円あったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、123,588千円の使用(前期は23,797千円の獲得)となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入が1,276,426千円あった一方、投資有価証券の取得による支出が1,385,677千円あったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、95,242千円の使用(前期は191,431千円の獲得)となりました。これは、主に株式の発行による収入が20,727千円あった一方、短期借入金の純減少額が115,000千円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く環境は、技術領域においては、引き続きクライアントのDX推進に向けたシステム投資が見込まれる一方でDXを推進する企業の多くがそれを担う人材不足や知識不足を課題としており、人材領域においては、デジタル化・AIの急速な進化が求められる環境下、人材紹介市場全体が拡大する一方で特定スキルや業種に特化した需要が特に高まっております。

そのような環境の中、デジタル・ソリューション事業ではクライアントのDX推進やAUの活用を支援するとともにエンジニアの採用及び育成によるケイパビリティ拡大、デリバリー体制の構築・整備に取り組みやプロジェクトのより一層の品質向上や収支管理の強化に取り組んでまいります。

キャリアイノベーション事業は、引き続きSEO対策に注力するとともに掲載企業数や企業研究レポートの増加を通じた媒体力の強化と同時に販売推進体制の整備への取り組みを進めてまいります。また即戦力となるコンサルタントの採用を強化し、新たな領域として大手事業会社への採用支援などに取り組んで参ります。

シェアリング事業においては、既存事業の推進すること及びTikTok Live代理店活動などの営業活動や海外進出の基盤作りに注力して参ります。

これらの結果、2027年3月期における連結業績予測は、売上高4,307百万円、営業利益125百万円、経常利益124百万円、親会社株主に帰属する当期純利益123百万円と見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	559,007	744,713
売掛金及び契約資産	788,832	1,030,324
仕掛品	1,862	-
前払費用	62,789	63,524
その他	203,859	73,577
貸倒引当金	△15,075	-
流動資産合計	1,601,276	1,912,139
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	42,506	2,570
減価償却累計額及び減損損失累計額	△42,506	△2,570
建物附属設備（純額）	-	-
工具、器具及び備品	38,845	39,257
減価償却累計額及び減損損失累計額	△38,845	△39,257
工具、器具及び備品（純額）	-	-
有形固定資産合計	-	-
投資その他の資産		
投資有価証券	119,968	231,858
関係会社株式	188	-
長期前払費用	1,438	-
その他	49,634	22,977
投資その他の資産合計	171,230	254,836
固定資産合計	171,230	254,836
資産合計	1,772,506	2,166,976

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	118,749	230,167
短期借入金	235,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	6,640	-
未払費用	63,564	69,515
未払法人税等	2,278	2,352
未払消費税等	2,805	45,418
前受金	19,627	22,133
賞与引当金	11,852	12,324
受注損失引当金	9,941	-
その他	126,155	175,166
流動負債合計	596,615	677,080
負債合計	596,615	677,080
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,650	61,119
資本剰余金	1,496,659	1,507,128
利益剰余金	△836,697	△643,826
自己株式	△525	△525
株主資本合計	710,086	923,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,892	△292
為替換算調整勘定	12,122	130
その他の包括利益累計額合計	6,230	△162
新株予約権	568	6,028
非支配株主持分	459,005	560,133
純資産合計	1,175,891	1,489,895
負債純資産合計	1,772,506	2,166,976

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,071,643	4,014,358
売上原価	1,500,724	1,625,145
売上総利益	1,570,919	2,389,212
販売費及び一般管理費	1,832,059	2,082,155
営業利益又は営業損失(△)	△261,140	307,057
営業外収益		
受取利息	311	1,292
受取配当金	1,873	6,226
持分法による投資利益	52	3,292
助成金収入	2,599	-
補助金収入	-	6,518
受取和解金	-	5,334
その他	1,606	2,027
営業外収益合計	6,443	24,691
営業外費用		
支払利息	668	2,027
為替差損	5,411	856
暗号資産評価損	61	-
投資有価証券売却損	8,247	16,683
解約違約金	8,000	-
その他	514	514
営業外費用合計	22,903	20,082
経常利益又は経常損失(△)	△277,599	311,666
特別利益		
子会社清算益	-	17,068
特別利益合計	-	17,068
特別損失		
減損損失	5,539	13,882
本社移転費用	-	26,628
特別損失合計	5,539	40,510
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△283,139	288,224
法人税、住民税及び事業税	2,459	2,623
法人税等合計	2,459	2,623
当期純利益又は当期純損失(△)	△285,599	285,601
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△320,046	192,871
非支配株主に帰属する当期純利益	34,447	92,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,879	19,323
為替換算調整勘定	1,101	△30,828
持分法適用会社に対する持分相当額	135	△3,481
その他の包括利益合計	△20,642	△14,987
包括利益	△306,241	270,613
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△325,786	186,478
非支配株主に係る包括利益	19,545	84,135

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,206	1,496,215	△516,651	△525	1,029,244
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△320,046		△320,046
新株の発行(新株予約 権の行使)	444	444			888
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	444	444	△320,046	△0	△319,158
当期末残高	50,650	1,496,659	△836,697	△525	710,086

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	448	11,522	11,970	568	439,460	1,481,244
当期変動額						
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△320,046
新株の発行(新株予約 権の行使)						888
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△6,340	599	△5,740	△0	19,545	13,804
当期変動額合計	△6,340	599	△5,740	△0	19,545	△305,353
当期末残高	△5,892	12,122	6,230	568	459,005	1,175,891

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,650	1,496,659	△836,697	△525	710,086
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			192,871		192,871
新株の発行(新株予約 権の行使)	10,469	10,469			20,938
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	10,469	10,469	192,871	-	213,809
当期末残高	61,119	1,507,128	△643,826	△525	923,896

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△5,892	12,122	6,230	568	459,005	1,175,891
当期変動額						
親会社株主に帰属する 当期純利益						192,871
新株の発行(新株予約 権の行使)						20,938
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	5,599	△11,992	△6,393	5,459	101,128	100,194
当期変動額合計	5,599	△11,992	△6,393	5,459	101,128	314,004
当期末残高	△292	130	△162	6,028	560,133	1,489,895

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△283,139	288,224
減損損失	5,539	13,882
減価償却費	-	282
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,075	△15,075
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,554	472
受取利息及び受取配当金	△2,184	△7,518
受注損失引当金の増減額(△は減少)	9,941	△9,941
支払利息	668	2,027
為替差損益(△は益)	5,411	856
持分法による投資損益(△は益)	△52	△3,292
投資有価証券売却損益(△は益)	8,247	16,683
暗号資産評価損益(△は益)	61	△6
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△152,633	△241,492
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,862	1,862
仕入債務の増減額(△は減少)	30,546	111,418
前払費用の増減額(△は増加)	13,965	△1,094
未払金の増減額(△は減少)	△11,247	57,366
未払又は未収消費税等の増減額	△46,600	△2,276
未払費用の増減額(△は減少)	△54,120	6,224
前受金の増減額(△は減少)	△12,276	2,506
その他	△74,738	78,059
小計	△542,843	299,169
利息及び配当金の受取額	3,528	7,518
利息の支払額	△988	△2,027
法人税等の支払額	△2,473	△3,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	△542,777	301,395
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,002
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△205	△12,248
投資有価証券の取得による支出	△997,666	△1,385,677
投資有価証券の売却による収入	1,021,669	1,276,426
敷金及び保証金の差入による支出	-	△19,108
敷金及び保証金の返還による収入	-	17,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,797	△123,588
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	205,000	△115,000
長期借入金の返済による支出	△14,456	△6,640
株式の発行による収入	888	20,727
新株予約権の発行による収入	-	5,670
自己株式の取得による支出	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	191,431	△95,242
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,221	△856
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△331,769	81,707
現金及び現金同等物の期首残高	985,766	653,996
現金及び現金同等物の期末残高	653,996	735,704

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当連結会計年度において、当社の連結子会社であったTimeTicket GmbHは、2025年6月2日付で清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

また、新たに新設しましたTimeTicket Inc.を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、事業部門ごとに取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「デジタル・ソリューション事業」は、クラウドソリューションを組み合わせたデジタルプラットフォームの構築やクライアントの業務改革のサポートとしてITコンサルティングサービスを提供しています。

「キャリアイノベーション事業」は、働く人々のキャリア形成を支援する総合的な人材サービスの提供及び求人情報を掲載する情報プラットフォーム「キャリアコネ」などのメディアサービスの提供しています。

「シェアリング事業」は、グループ会社の株式会社タイムチケットが「TimeTicket(タイムチケット)」、「TimeTicket Pro(タイムチケットプロ)」、「TikTok Live代理店」を運営および経営課題の解決を行うコンサルティングサービス「CRiPTコンサルティング」を提供しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、これまで組織と事業セグメントが同一として区分してきましたが、「プラットフォーム事業」と「セールスフォース事業」、および「メディア事業」と「リクルーティング事業」について、それぞれの領域をより複合的かつ連携的にサービス提供していくことが必要であると判断いたしました。

これにより、経営スピードの向上や、成長する新たなビジネスへのリソースの集中的な投下・投資実現することが、当社グループのさらなる成長に不可欠であると認識しております。また、投資家の皆様に当社グループの事業全体への理解を一層深めていただくため、現行の「プラットフォーム事業」「セールスフォース事業」「メディア事業」「リクルーティング事業」の構成について、再編および呼称の変更を行いました。

その結果、従来は5区分としておりましたが、当連結会計年度より、「デジタル・ソリューション事業」「キャリアイノベーション事業」「シェアリング事業」の3区分に変更いたしました。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は発生費用を基礎に当事者間で協議の上決定しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 3
	デジタル・ソ リユーション 事業	キャリアイノ ベーション事 業	シェアリング 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,470,486	588,156	1,013,001	3,071,643	-	3,071,643
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,470,486	588,156	1,013,001	3,071,643	-	3,071,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,072	19,999	37,123	59,194	△59,194	-
計	1,472,558	608,155	1,050,124	3,130,838	△59,194	3,071,643
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	40,214	47,154	98,798	186,168	△447,308	△261,140

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△447,308千円のうち△388,113千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの資産、負債その他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 3
	デジタル・ソ リユーション 事業	キャリアイノ ベーション事 業	シェアリング 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,578,100	516,285	1,919,972	4,014,358	-	4,014,358
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,578,100	516,285	1,919,972	4,014,358	-	4,014,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72	13,192	18,965	32,230	△32,230	-
計	1,578,172	529,478	1,938,938	4,046,589	△32,230	4,014,358
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	423,649	85,352	156,657	665,659	△358,602	307,057

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△358,602千円のうち△294,140千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの資産、負債その他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	19.66円	25.26円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△8.78円	5.28円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	5.27円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,175,891	1,489,895
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	459,574	566,161
(うち新株予約権(千円))	(568)	(6,028)
(うち非支配株主持分(千円))	(459,005)	(560,133)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	716,317	923,734
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	36,427,389	36,562,189

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△320,046	192,871
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△320,046	192,871
普通株式の期中平均株式数(株)	36,420,124	36,507,776
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	53,392
(うち新株予約権(株))	—	(53,392)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類(新株予約権の数569,450個) 普通株式数630,350株	新株予約権2種類(新株予約権の数593,350個) 普通株式数3,167,350株

(重要な後発事象の注記)

(当社子会社による孫会社設立)

当社は、2026年3月30日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社タイムチケット（当社出資比率29%）による子会社設立について決議いたしました。

なお、新会社は、当社の資本金額の100分の10以上に相当し、当社の特定子会社に該当することとなります。

1. 新会社設立の目的

当社グループのシェアリング事業における Live エンターテインメント事業において、これまで TikTok ライバー獲得に取り組んでまいりました。今後のニーズとして、所属ライバーの芸能活動の活躍機会を広げるなど「TikTok Live 代理店」外の活動にも注力していくために子会社を設立することとしました。

2. 連結子会社の概要

(1) 名称	株式会社タイムチケット
(2) 所在地	東京都港区新橋6丁目19番13号 エンスイテ御成門5階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 各務正人
(4) 事業内容	TimeTicketの開発と運営・TikTokライバー事務所の運営 他
(5) 資本金	1億円
(6) 設立年月	2019年4月
(7) 大株主及び出資比率	株式会社グローバルウェイ（出資比率：29%）

3. 設立する孫会社の概要

(1) 名称	株式会社ウエストゲートエンタテインメント	
(2) 所在地	東京都港区新橋6丁目19番13号 エンスイテ御成門5階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 各務正人	
(4) 事業内容	ライバー活動の支援・マネジメント 他	
(5) 資本金	2,000万円	
(6) 設立年月	2026年4月	
(7) 大株主及び持ち株比率	株式会社タイムチケット 出資比率75.0%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の連結子会社である株式会社タイムチケットが75.0%出資する子会社として設立予定
	人的関係	当社の代表取締役が当該孫会社の代表取締役を兼任する予定であります。
	取引関係	新設会社のため該当事項はありません

4. 日程

(1) 取締役会決議	2026年3月30日
(2) 会社設立日	2026年4月
(3) 事業開始日	2026年5月（予定）

(特定子会社(孫会社)の異動)

当社は、2026年4月22日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社タイムチケット(当社出資比率29%)の米国の子会社であるTimeTicketInc.に対し、増資を行うことを決議いたしました。

本増資によりTimeTicketInc.の資本金が当社の資本金額の100分の10以上に相当し、当社の特定子会社に該当することとなります。

1. 増資の理由

自己資本の増強により、米国での事業拡大および経営基盤の強化を図るため

2. 出資する連結子会社の概要

(1) 名称	株式会社タイムチケット
(2) 所在地	東京都港区新橋6丁目19番13号 エンスイテ御成門5階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 各務正人
(4) 事業内容	TimeTicketの開発と運営・TikTokライバー事務所の運営 他
(5) 資本金	1億円
(6) 設立年月	2019年4月
(7) 大株主及び出資比率	株式会社グローバルウェイ(出資比率:29%)

3. 増資する連結孫会社の概要

(1) 名称	TimeTicket Inc.	
(2) 所在地	24 Greenway Plaza, Suite 1305 Houston, TX	
(3) 代表者の役職・氏名	CEO 各務正人	
(4) 事業内容	ライブ配信エージェンシー事業 IP企画運営及びコンサルティング事業 他	
(5) 資本金(増資前)	1,000ドル(約158千円)	
(6) 設立年月	2026年3月	
(7) 出資比率	株式会社タイムチケット(出資比率100.0%)	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	本増資により当社の特定子会社となります
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません
(9) 直近3年間の財政状態及び経営成績	当該会社は2026年3月に設立されたため、最近3年間の財政状態及び経営成績に関する該当事項はありません。	

(注) 資本金の額は、1ドル=158円で円換算しています。

4. 増資の概要

(1) 増資金額	500,000ドル(約79,000千円相当)
(2) 増資予定日	2026年5月(予定)
(3) 増資後の資本金	501,000ドル(約79,158千円相当)
(4) 増資後の出資比率	株式会社タイムチケット(出資比率100.0%)

(注) 資本金の額は、1ドル=158円で円換算しています。